

# 平成23年度前期芦安中学校学校関係者評価書

平成23年9月16日

芦安地区学校関係者評価委員会

委員長 松本 賢司



## 1 経過

○第1回芦安地区学校関係者評価委員会

〔日時〕平成23年8月31日（火）19時30分～21時00分

〔場所〕芦安中学校多目的ホールにて

## 2 参加者

No.	氏名	役職名	備考	
1	秋山 栄男	芦安区長会長		
2	伊東 義巳	木工指導者 民宿よしみ経営		
3	清水 准一	NPO法人芦安ファンクラブ事務局長 清水工設社長		
4	千野八十之	元南アルプス市教育委員 元芦安村教育長		
5	松本 賢司	芦安小中学校PTA会長	委員長	
6	森本 章雄	芦安地区学校応援団代表	副委員長	
12	深澤 信臣	芦安小学校	校長	
13	竹内 幸人		教頭	事務局
14	花輪 千明		教務主任	
15	輿水 哲男	芦安中学校	校長	
16	小尾 一彦		教頭	事務局
17	伊藤 浩一		教務主任	

## 3 学校側から提案された内容

〔前期中学校自己評価の分析と改善方策〕

- ①前期（7月）教職員アンケート結果
- ②前期（7月）生徒アンケート結果
- ③芦安中学校前期自己評価書

## 4 協議された主な内容

- （1）前期アンケート結果への質疑
- （2）自己評価の結果の内容についての検証
- （3）自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策についての検証
- （4）今後の芦安地区の教育のあり方について

## 5 評価委員会で出された主な意見

（1）芦安中学校の前期学校評価について

- ・小学校から見る中学校、中学校から見る小学校とお互いの目でみることが大切。小中一貫教育を進めてほしい。

- ・1学期、先生にわからないことを聞かない子が多かったのは、中学校は新任の先生が多かったからではないか。これから関係を深めてほしい。
- ・昨年の全校登山は、登山や事前学習を含めてこれまでの取り組みの中で最高だと思った。今年は違った意味で上を言っていたと思う。体調を崩した子も途中から復帰ができたのは2泊3日のよさを感じた。個性のある指導者がいたので、先生方が遠慮していたようである。もっと、積極的に係わって行ってほしい。
- ・学力向上のために、まなびの時間、補習学習をこれからも続けて行ってほしい。
- ・わからないことを先生に聞かない子が多い。子どもから見たときに「こんなこともわからないのか」ということを教師が言わないように、丁寧に教えてあげてほしい。
- ・保護者と話し合っ、家庭学習の習慣化を図ってほしい。
- ・登山は大変だと思うが、先生方もがんばってほしい。今年は、女の先生が少ないので心配したが、女の先生が本当によくがんばっていた。
- ・登山に保護者にもっと参加してほしい。登山の大変さ、登ったときの素晴らしさを親子で共感することが大事である。
- ・学校開放日の通知を評価委員のみなさんにも配って、見に来てもらったほうがよい。その子どもたちの姿を見て、評価につなげてほしい。
- ・芦安中の理事は保護者全員である。トラブルが起きたときは、保護者全員で共有できればよいと思う。個人情報にかかわらない生活態度、マナーなどの部分は、保護者全員で話し合いたい。
- ・先生方は遅くまで仕事をしている。先生方もできるだけみんなで仕事を分担してやってほしいと思う。
- ・「あいさつ」と「言葉づかい」は指導してほしい。
- ・1学期も終わり、子どもたちも慣れてきたと思う。成果が出てくるのは2、3学期だと思う。後期の評価に成果がでるように向かってほしい。

## (2) 今後の小中学校教育の推進について

- ・地元にいると地元が見えなくなる。新しい先生が目が大切。前任校はこうであったなど、芦安のよくないことは言ってもらい、よくするための新しいことを提案してほしい。
- ・先日、市長と話をしたとき「魅力ある学校」を作ってほしいと言われた。中学校の全校登山、新聞配達、バトミントンなどは昔から有名である。小学校もあいさつをよくすると言われてきた。良いことは、これからも伸ばして行ってほしい。
- ・予算があればできそうなものを検討してほしい。地域としても要望をしていきたい。
- ・小学校の親子レクるとき、体育館でクライミングボードゲームを行った。子どもたちは、とても意欲的に取り組んでくれた。先生たちにも技術指導をしたいのでそのときは参加してほしい。
- ・「生きる力」を身につけると文科省も言っているが、それにはいろいろな体験を積むことが大切である。ユネスコスクールに登録し、そこでどういう活動ができるかわからないが、いろいろな体験をさせてほしい。そういった活動をすることで、下の地区から子どもが来るかもしれない。
- ・学校の使命とは、学力をつけること。小中で連携してやってほしい。前小学校校長がしっかり学力をつけると言っていたので、継続してほしい。
- ・ホテルの生息の取り組みは小学校の力である。今年は、小学校が中心となってホテルを飛ばすことをできなかったようだが、来年はぜひやってほしい。

## 5 評価・分析

芦安地区学校関係者評価委員会において、「芦安中学校グランドデザイン」「学校経営方針」に沿って行われた自己評価（職員・生徒）の項目から、調和のとれた教育活動が進められていることが確認できた。評価が高かった項目は今後も伸ばしていき、課題となった項目については、2学期以降の重点指導項目として、改善に努めていってほしい。

（1）学習指導については、基礎学力の定着や学力の向上をめざして、授業改善や個に応じた指導を行い、今後も「まなびの時」「補習学習」の充実を図ってほしい。また、家庭との連携を図り、家庭学習の習慣化に努めてほしい。

（2）あいさつ、言葉づかい、清掃活動等について学校では、師弟同行・率先垂範に心がけ、継続的な取り組みを行い、家庭や地域における規律ある態度や規範意識を育成に向けて家庭との連携を図ってほしい。

（3）全校登山、夜叉神太鼓、バトミントンなど少人数を生かした教育や芦安地区の自然・環境を生かした教育など特色ある学校づくりを今後も推進してほしい。特に、本年度はユネスコスクールに加盟が認められたので、環境教育や自然体験活動の取り組みも考えていってほしい。また、小中一貫教育など魅力ある学校づくりを今後検討していってほしい。